

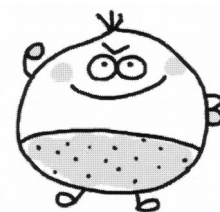
HDM推進会（第 37回）／ごみゼロネット推進会（第 59回）議事録

開催日： 2013 年（H25 年）4 月 10 日（水）10:00 ～ 12:10

場 所： コミュニティサロン・はけ

出席者： 加藤、平林、大橋、杉本、川村、山本、桐生（作成）

議 題：



1. 資料「ごみ・生ごみの動き」により最近の状況報告（加藤）

- ①日野市の三市共同処理問題・・・市議選では多くの候補者が「ごみ問題は一応の解決」といった動きであったが、日野市側では「小金井市のごみはピケを張って通さない」という市民に賛同する人々が週を追って増えている。必ずしも楽観できない。
- ②稲葉市長は最近の市報で「ごみ減量の推進」「ごみ問題に全力を挙げて取り組む」「日野市に感謝。与えられた役割や責任の誠実な遂行」を繰り返し訴えている。
- ③生ごみ処理機器、EM バケツ、コンポスト容器の申請購入数が H19 年導入時のピークから急速に減っている。
- ④ 3/21 答申の「H25 年度一版廃棄物処理計画」について・・・内容省略
- ⑤ごみ対策課の人事異動・・・柿崎部長は転出、施設担当部がなくなり、その中谷氏が環境部長になる。今井課長補佐は企画部に移り、企画部から秋本課長補佐が来る。（1 年毎に人を変えて、良い市政が期待できるか？）
- ⑥ごみ・環境ビジョン 21 のスケジュール紹介、他

2. 市議選の結果と今後のごみ問題の進め方の討議（全員）

- 仕切り直して議員たちに対する当会の提案の説明会を持ちたい。会派別に接触する必要あり。加藤氏が数日前にメールの添付資料として送られたものを基本として、それに説明資料をつけたような提案書を用いたい。
- 生ごみ市民協議会はメンバーの考え方に余りに大きな巾があり過ぎる。我々は其処に合流するのではなく、我々が纏めた考えを協議会に流す形で協力したい。
- HDM 処理施設は大規模化した方が経済性は優れている。しかし、分別収集を全市に広げる中間段階として、三箇所くらいでモデル地区を決めて、4 / 日程度の施設を設けて逐次導入することがスムーズな全市展開の前段階として現実性があると判断する。（加藤）
- その他にも多くの有益な意見が出されたが、紙面の関係で省略。

上

以

ごみ対策課との次回の「HDM 導入検討会議」：4 月 24 日 9：30 より本町暫定庁舎第 3 会議室

次回打合せ 5 月 8 日（水）10：00～12：00 コミュニティサロン・はけ

